南丹市交通安全対策審議会
議 事 録

南丹市交通安全対策審議会事務局
(南丹市企画政策部交通対策室)

南丹市交通安全対策審議会平成23年9月2日開催議事録

1. 招集年月日 平成23年8月11日（木）
2. 開催年月日 平成23年9月2日（金）午後2時～午後2時30分
3. 開催場所 南丹市役所（2号庁舎3階）301会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
 - (1) 委員の総数 18名
 - (2) 出席者数 16名
 - (3) 出席した委員の氏名（敬称略）

役職名	氏名	出欠	備考
南丹市議会議長	井尻 治	○	
南丹市議会総務常任委員会委員	矢野康弘	○	
南丹市議会総務常任委員会委員	橋本尊文	○	
南丹市教育委員会委員長	林 昌明	○	
南丹市教育委員会教育長	森 榮一	○	代理：大野教育次長
南丹警察署長	松岡英人	○	
南丹市校園長会代表	堀川勝久	○	
南丹船井交通安全協会南丹支部長	関岡 勉	○	
南丹市老人クラブ連合会長	長野 弘	×	
南丹市婦人会長	松本明美	○	
南丹市PTA連絡協議会長	吉田 哲	×	
南丹市消防団長	益田武彦	○	
国土交通省京都国道事務所長	小林賢太郎	○	代理：金谷専門職
京都府南丹広域振興局企画総務部長	上條正和	○	
京都府南丹広域振興局建設部長	川嶋淳一	○	代理：駒路管理室長
京都中部広域消防組合園部消防署警防課長	中野好三	○	
南丹市社会福祉協議会長	田中 博	○	代理：堀江事務局長
西日本旅客鉄道(株)園部駅長	岩森正宏	○	
合 計	18名	16名	

5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

<p>司会 (伊藤部長)</p>	<p>お待たせいたしました。本日、委員の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまより、南丹市交通安全対策審議会を開催させていただきます。</p> <p>今回は初めての審議会ですので、私、南丹市企画政策部長の伊藤でございますが、協議の前まで次第に基づき、進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>はじめに、委員の皆様を代表して、井尻 治 委員に市長より委嘱状を交付させていただきますので、井尻委員は正面にお進み願います。</p>
	<p>(井尻 治 委員に市長より委嘱状交付)</p>
<p>司会</p>	<p>他の委員の皆様には、大変失礼ながら、机の上に委嘱状を置かせていただいておりますので、ご了承願います。</p> <p>なお、この審議会につきましては、南丹市交通安全対策審議会条例に基づき設置するものでございます。</p> <p>平成23年6月29日付けで委員の就任依頼をさせていただき、18名の皆様にご就任いただいたところであり、その任期は、平成25年3月31日までとなっております。</p> <p>各委員様には、お世話になりますが、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、委員としてご就任いただき、第2次交通安全計画の策定にご参画いただきますこと、重ねて厚くお礼申し上げます。</p> <p>近年の交通事故の状況は、全国的に発生件数、死者の数ともに減少しております。昨年、全国の交通事故死者数は4,863人で、57年ぶりに5千人を下回った一昨年より更に減少し、負傷者数も、16年ぶりに90万人を下回ったところです。また、飲酒運転事故もその死亡事故件数は、一昨年に比べて約4%減少しております。</p> <p>当市でも、18年度に策定した第1次交通安全計画において、年間の交通事故負傷者数を昨年までに150人以下、また、死者数を限りなくゼロに近づけることを目標としてきたところであり、その結果、昨年の負傷者数は一</p>

	<p>昨年より80名減少し、146人となりました。</p> <p>これは、関係各位や市民の皆様が、悲惨な交通事故を一件でも減少させようと取り組んでこられた成果ですが、当市でも、昨年は8名、今年は2名の尊い命が交通事故の犠牲となっており、特に、死者数に占める高齢者や歩行者などの割合は、年々高くなっております。</p> <p>安全・安心な暮らしの実現には、こうした交通弱者を事故から守る施策が喫緊の課題であります。そのためには、道路交通環境の整備や取り締りの強化だけではなく、啓発などソフト面の対策が一層必要で、行政や関係機関・団体等が相互連携を密にして、交通事故の防止と安全な交通社会を実現していくための取り組みを積極的に推進していかなければなりません。</p> <p>今年度から27年度までを期間とする第2次交通安全計画は、交通を取り巻く環境や地域の実情を踏まえ、安全で円滑・快適な交通社会を実現するため、交通安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱として定めるものであります。</p> <p>ご審議いただいた計画に基づき、市としても痛ましい交通事故をなくすため、交通ルールをしっかりと守る、命の大切さを伝える活動を推進しますので、皆様方にも、格別のご支援ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>結びにあたりまして、皆様方の更なるご健勝ご活躍を祈念して、私のあいさつとさせていただきます。</p>
<p>司会</p>	<p>先ほど、委嘱状を交付させていただいたところではございますが、ここで委員の皆様をご紹介させていただきます。</p> <p>南丹市議会 議長 井尻 治 委員です。</p> <p>南丹市議会 総務常任委員会委員 矢野 康弘 委員です。</p> <p>南丹市議会 総務常任委員会委員 橋本 尊文 委員です。</p> <p>南丹市教育委員会 委員長 林 昌明 委員です。</p> <p>南丹市教育委員会 教育長 森 榮一 委員の代理で、大野 光博 教育次長にご出席いただいております。</p> <p>南丹警察署長 松岡 英人 委員です。</p> <p>南丹市校園長会代表 堀川 勝久 委員です。</p> <p>南丹船井交通安全協会 南丹支部長 関岡 勉 委員です。</p> <p>南丹市婦人会長 松本 明美 委員です。</p> <p>南丹市消防団長 益田 武彦 委員です。</p> <p>国土交通省 京都国道事務所長 小林 賢太郎 委員の代理として、本日は、</p>

	<p>金谷 和美 交通対策課専門職にご出席いただいております。</p> <p>京都府南丹広域振興局 企画総務部長 上條 正和 委員です。</p> <p>京都府南丹広域振興局 建設部長 川嶋 淳一 委員の代理として、本日は、駒路 勝男 管理室長にご出席いただいております。</p> <p>京都中部広域消防組合 園部消防署警防課長 中野 好三 委員です。</p> <p>南丹市社会福祉協議会長 田中 博 委員の代理として、本日は、堀江 光治 事務局長にご出席いただいております。</p> <p>西日本旅客鉄道(株) 園部駅長 岩森 正宏 委員です。</p> <p>なお、南丹市老人クラブ連合会長 長野 弘 委員、南丹市PTA連絡協議会長 吉田 哲 委員については、本日ご欠席されています。</p> <p>続きまして、事務局を紹介させていただきます。</p> <p>犬石 圭一 交通対策室長です。</p> <p>前原 正明 交通対策室交通対策係長です。</p> <p>下田 真徳 交通対策室主査です。</p> <p>以上でございます。</p> <p>なお、この委員会の定数は、南丹市交通安全対策審議会条例第3条の規定により20名以内となっておりますが、18名の方にご就任いただいております。</p> <p>また、同条例第7条第2項の規定により、委員の半数以上の出席により会議が成立することとなっておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>続きまして、審議会の会長、副会長の選出に移らせていただきます。</p> <p>南丹市交通安全対策審議会条例第4条第1項で、会長、副会長は委員が互選することとなっております。どのようにさせていただいたらよろしいか、お諮りいたします。</p>
	(事務局一任の声あり)
司会	事務局一任の声をいただきましたが、ご異議はございませんか。
	(意義なしの声あり)

司会	<p>それでは、事務局より推薦をさせていただきます。</p> <p>会長は、南丹船井交通安全協会 南丹支部長 関岡 勉 委員に、副会長は、南丹市校園長会代表 堀川 勝久 委員にお願いしたいと存じますが、ご異議はございませんか。</p>
	(意義なしの声あり)
司会	<p>それでは、関岡 委員、堀川 委員、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それぞれ会長席、副会長席に移動をお願いいたします。</p>
	(会長・副会長着席)
司会	それでは、会長、副会長よりごあいさつをお願いいたします。
会長	会長に選出いただきました南丹船井交通安全協会 南丹支部長の関岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
副会長	副会長に選出いただきました南丹市校園長会代表 園部小学校長の堀川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
司会	それでは、本日審議いただきます案件について、市長より諮問させていただきます。
	(会長に市長より諮問書手渡し)
司会	なお、市長には、他の公務のため、ここで退席となります。
	(市長退席)
司会	それでは、交通安全対策審議会条例第7条第1項の規定により、会長に議事の進行をお願いいたします。
会長	<p>それでは、ただ今、市長より諮問を受けた議案第1号 南丹市交通安全計画(案)を議案といたします。</p> <p>議案第1号について、事務局に説明を求めます。</p>
事務局	<p>失礼します。交通対策室の下田です。どうぞよろしくお願います。</p> <p>はじめに配布資料を確認させていただきます。次第の他に、議案第1号の交通安全計画案・参考資料①・参考資料②・参考資料③を配布していますが、漏れはありませんか。</p>

それでは議案説明の前に、計画策定の背景をご説明させていただきますので、まず参考資料①をご覧ください。表面の交通安全対策基本法第26条により、南丹市も京都府交通安全計画に基づき、市交通安全計画を作成するとされており、この交通安全対策審議会は、裏面の審議会条例に基づき、開催しております。

国では、今年3月31日の中央交通安全対策会議で「第9次交通安全基本計画」が策定されました。この計画に基づき、府でも8月2日の府交通安全対策会議で「第9次京都府交通安全計画」が策定されたところであり、その概要が参考資料②ですので、参考までお目通し願います。

市においても、市役所各課に意見照会を行って中間案をとりまとめた後、委員の皆様への意見照会とパブリックコメントの募集を行いました。それを集約したものが参考資料③であり、いただいたご意見を反映させたものを、本日議案として提出しております。

それでは、議案第1号 交通安全計画案をご覧ください。

まず、1ページからの第1章では、道路交通の安全について記載しております。第1節1「交通事故の現状と今後」ですが、1ページ下に過去10年間の発生件数と負傷者数を記載しており、両方とも平成14年をピークに減少傾向をたどっています。これに反して、2ページ中程ですが、交通事故死者数は昨年が最多となっています。3ページに道路別発生件数を記載していますが、道路改良で路面の安全や見通しが確保できた半面、速度超過や市外からの車両の増加により、主要道路での事故が大半を占める結果となっています。また、グラフより下に、南丹市は自動車への依存が高く、かつ高齢運転者の多い地域であり、この傾向は更に加速するとしています。このことから、高齢者等交通弱者の安全対策を最重要課題と位置づけています。

4ページの2「本計画の目標」ですが、表1が府の目標であり、市としても、究極の目標は事故の根絶にあります。府の前計画から今計画の削減率を参考とし、表2のとおり死者数は限りなくゼロ、負傷者数は平成27年までに130人以下という数値目標を掲げています。

5ページの3「交通安全対策を考える視点」としては、(1)高齢者及び子どもの安全確保、(2)歩行者及び自転車の安全確保、(3)生活道路及び幹線道路における安全確保を挙げております。

6ページの第2節「講じようとする施策」ですが、1「道路交通環境の整備」として、(1)歩行空間の整備は、歩行者・自転車・自動車を分離し、か

つ高齢者等の安全を守るための平坦性の確保、(2) 幹線道路の安全対策は、南丹土木からの修正意見を反映させ、事故要因に即した対策や幹線道路と生活道路の機能・交通量の適切な分担、(3) 住民参加の促進では、道路整備への住民意見の反映や事業内容の公表を掲げております。

7ページ(4) 交通規制ですが、地域に応じた規制内容の合理化、(5) 公共交通利用の促進では、南丹土木からの修正意見を反映させ、利用者の利便性向上や駅前整備、特に高齢者等の生活手段を確保するため、周辺地など交通の便が薄い地域も含めて、誰もが利用しやすい交通体系を構築するとしています。(6) 災害への備えとしては、地域の孤立解消やCATV等を活用した迅速な情報提供、(7) 駐車対策として、商店街組織等による駐車場整備や駐車マナーの向上対策、8ページ(8) 道路交通環境の整備では、南丹土木からの修正意見を反映させ、信号機の高度化・わかりやすい道路標識・工事等における道路使用許可等の適正な運用・冬場の除雪・凍結防止対策等を挙げております。

続いて、9ページ2「交通安全思想の普及」では、(1) 段階的かつ体系的な教育として、①幼児には、婦人会からの修正意見を反映させ、紙芝居等、視聴覚教材を利用するなどわかりやすく、②児童には、歩行者又は自転車利用者としての技能習得、③中学生には、特に自転車の安全利用と他人の安全への配慮を挙げております。

10ページ④高校生には、交通ルールの遵守や自他の生命尊重など責任ある社会人としての育成、⑤成人には、社会的責任の自覚や交通事故の悲惨さへの理解、⑥高齢者には、身体機能の変化による交通行動への影響を理解してもらうことや高齢者講習の実施、11ページ⑦障がい者には、障がいの程度に応じた教育や介護者等への講習を掲げています。

(2) 普及啓発活動では、きめ細かい広報活動や事故多発時の集中的な対策、(3) 民間団体の活動推進では、交通安全協会南丹支部と交通指導員の活動強化を掲げています。

続いて、12～13ページ3「交通安全秩序の維持」ですが、(1) シートベルト・チャイルドシートの着用、(2) 交通弱者の保護、(3) 飲酒運転の根絶、(4) 暴走運転の根絶を、市民総ぐるみで推進するとしています。

14ページ4「救助・救急活動」ですが、(1) 救助・救急体制の整備では、医療・消防機関の連携強化や救命率向上のための体制整備、(2) 教育の充実では、消防署からの修正意見を反映させ、胸骨圧迫を含む心肺そ生法等が現

	<p>場に居合わせた人により行われるよう、一般への応急手当の普及、(3) 救急医療体制の整備では、体系的な医療体制の整備やドクターヘリに関する関係機関の連携強化を挙げております。</p> <p>15 ページ5「被害者支援の推進」では、(1) 自動車損害賠償保障事業の周知、(2) 無保険車両対策の徹底、(3) 交通事故相談活動の推進、(4) 被害者等への援助措置の周知により、被害者対策を推進するとしています。</p> <p>続いて、16 ページからの第2章では、鉄道交通の安全について記載しています。</p> <p>第1節「事故の現状と安全対策」では、鉄道事故ではひとたび事故が発生すると大事故となる恐れがあり、また、ホームへの転落なども増加していることから、17 ページの第2節に掲げる施策を推進するとしています。</p> <p>その施策として、1「鉄道交通環境の整備」では、施設の自然災害対策や適切な維持管理、駅のバリアフリー化、2「安全運行の確保」では、乗務員等の資質向上や情報分析等の安全管理・運行管理体制の充実、3「安全に関する知識の普及」では、置石や線路内立ち入りを防ぐための広報活動、4「救助・救急活動」では、鉄道事業者と消防・医療機関の連携強化や駅職員への応急手当講習を掲げています。</p> <p>18 ページ5「踏切事故の防止」では、踏切道通行者への安全啓発、踏切道の除去等を促進することとしています。</p> <p>なお、答申書案を最終ページに添付しておりますので、併せてご確認願います。以上でございます。</p>
会長	事務局の説明に対し、ご意見や質問はございませんか。
矢野委員	<p>交通事故をなくすためには、生活道路いわゆる地域内道路の整備が必要だと思えます。</p> <p>幹線道路はかなり整備されているが、地域内道路は整備が遅れており、自転車等の通行も多いし、中学生の通学時など危険を感じます。</p> <p>カーブミラーや歩道の整備が必要かと思えます。</p>
会長	<p>そうした整備については、行政でも検討をお願いします。</p> <p>他に何かございませんか</p>
	(特になし)
会長	それでは、原案どおり市長に答申することにしたいと思います。

	<p>また、答申書については、私と副会長で市長に提出させていただくことにしたいと思います。</p> <p>以上について、ご異議ございませんか。</p>
	(意義なしの声あり)
会長	<p>異議なしの声をいただきましたので、ご承認いただけるようでしたら拍手をお願いいたします。</p>
	(拍手)
会長	<p>拍手多数により、本議案は原案どおり承認されたものとします。</p> <p>続いて、その他について、各委員さんや事務局から何かございましたら、出してください。</p>
	(特になし)
会長	<p>特にないようですので、本日の協議を全て終了いたします。</p> <p>委員の皆様には、議事の円滑な進行にご協力をいただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、副会長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
副会長	<p>失礼します。</p> <p>委員の皆様にはスムーズにご協議いただき、予定時間より早く終了できたのではないかと考えております。</p> <p>今後、向こう5年間のこの南丹市交通安全計画に基づき、交通安全行政を推進していただくことをお願いするとともに、私たち委員も、それぞれの立場で啓発活動等に取り組んでいかなければと考えております。</p> <p>簡単ではございますが、閉会のあいさつとさせていただきます。</p>
会長	<p>それでは、以上をもちまして、南丹市交通安全対策審議会を閉会いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中のご出席、誠にありがとうございました。</p>